

連載 障害者雇用に取り組む 企業インタビュー 第14回

スリーボンドパートナーズ株式会社

業務管理部

主査 川原田 英樹様からお話を聞きました。

Q. 貴社について教えてください。

スリーボンドパートナーズは、積極的に社会貢献活動を行う企業として、障害者雇用に於ける法令遵守と障害者が活躍出来る場所を提供したいという思いから、2019年1月に特例子会社を設立しました。スポーツを通じて知的障害者の自立を支援する団体であるスペシャルオリンピックスのプレミアムスポンサーでもあります。

スリーボンドグループ全体での法定雇用率を常に満たし、法令を厳守することが一義的役割ですが、グループ全体での障害者の雇用と定着、そして自立を目指し推進することも私たちの役割です。

また、スリーボンドグループでは障害を持ちながら働いている社員(仲間)をスペシャルパートナーと呼んでいます。スリーボンドパートナーズという社名には、障害者と働くことが特別なことではなく、スリーボンドとして共に働いているパートナー(仲間)として互いに協力していこうという意味が込められています。

スリーボンドパートナーズの業務としては、スリーボンド商品の純正ラベルや中国向けラベルを貼る作業、スリーボンド商品カタログの発送業務や宅配荷物の運搬、事業所の清掃作業、南大沢食堂の食事の盛り付け等を行っています。また2022年1月からは、スリーボンドファインケミカルから生産品を一部受託して商品を生産する業務も始めています。

Q. 今回紹介する、当センター登録者の竹内さんについて教えてください。

竹内さんは、スリーボンドパートナーズからの出向で、緑区大山にあるスリーボンドファインケミカル株式会社内の研究総務課に在籍しています。社歴は長く、入社20年のベテランです。研究所で使う備品の発注や荷物の集荷、屋内外の清掃などを行っています。最近ではヘルパーを活用し、料理を学んで自炊を頑張っていると聞いています。

Q. 就労援助センターとの連携状況について教えてください。

就労援助センターとは、スペシャルパートナーに関する助言のほか、定例で行われている「仕事創出会議」において、現在行っている仕事の報告やこれから検討している新たな仕事についての検討、生活面の状況や将来に向けての対応など幅広く検討しており、助言をいただいています。引き続き、仕事面のみならず生活力を身に付けられるよう、フォローをしていただきたく考えています。



仕事創出会議にて報告を行う竹内さん

利用者満足度 調査の結果報告

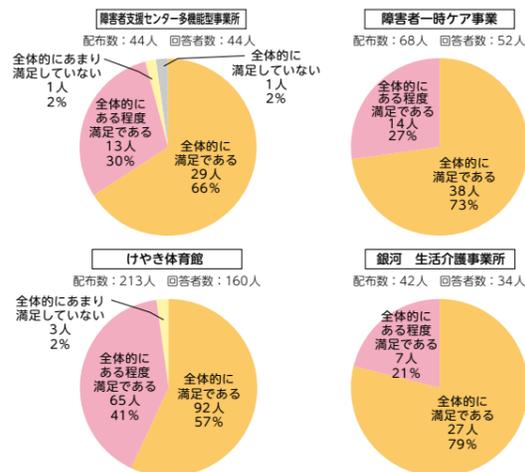
当事業団では、事業や施設におけるサービスの質の向上を目指すため、年1回利用者満足度調査を実施しています。

- 【調査期間】
- (1)障害者支援センター多機能型事業所 令和5年9月1日～9月29日
 - (2)障害者一時ケア事業 令和5年9月1日～10月31日
 - (3)けやき体育館 令和5年9月1日～9月30日
 - (4)銀河 生活介護事業所 令和5年9月1日～9月30日



今回の結果を踏まえて、より良いサービスを提供できるよう取り組んでまいります。ご協力ありがとうございました。

設問 事業/施設について、全体的な満足度はいかがですか？



こもれび

社会福祉法人 相模原市社会福祉事業団
〒252-0223 相模原市中央区松が丘1-23-1 ☎042-750-1905
ホームページアドレス <http://www.sagamihara-shafuku.or.jp/>

当事業団初の上映会&トークイベント！ ～地域で暮らすってどういうこと？～



6月24日(土)、あじさい会館にて、「障害者を含む地域住民が、相互の支え合いにより地域生活を送る地域共生社会の実現をめざす」ことを目的に、当事業団創設以来初、「映画『くちづけ』上映会&トークイベント～地域で暮らすってどういうこと？～」と題したイベントを開催いたしました。地域で暮らす障害者の様々な人間模様や、純粋にひたむきに生きる様子を描きつつ、自立した生活を送るということに対する困難さや課題など問題提起する内容でした。上映会後は学識経験者や元教育関係者、地域支援者、そして福祉を学ぶ現役学生の登壇により、理解促進のため意見交換会を企画しました。参加者からは、『もっと障害者のことを理解し、皆が嫌な思いをしないような社会づくりが必要だと思った』『事業団としての地域福祉発信であり、素晴らしいと思う』という声が寄せられました。参加者251名と大盛況でした。

神奈川新聞、福祉新聞の取材を受けるなど、当事業団について知っていただく良い機会にもなりました。



寄付御礼 (令和5年7月～12月)

- イトーヨーカドー労働組合 古淵支部 様
 - 株式会社ラケットショップフジ 様
 - ヨネックス株式会社 様
- 頂戴いたしましたご寄付は、大切にさせていただきます。ありがとうございました。



今年是对面で開催!!

第26回松が丘園祭 ～銀河の森フェスタ～

10月28日(土)に第26回松が丘園祭～銀河の森フェスタ～を開催しました。対面開催は4年ぶりで、当日は天気にも恵まれ模擬店や出し物などによって盛り上がりました。この日は近隣の和泉短期大学でも学園祭が行われており、コラボレーションでスタンプラリーを開催しました。地域にお住いの方や松が丘園OB(利用者・職員)も多く来場して、とても賑やかなお祭りとなりました。

天気は快晴、園祭日和。

「自立訓練よさこい発表」

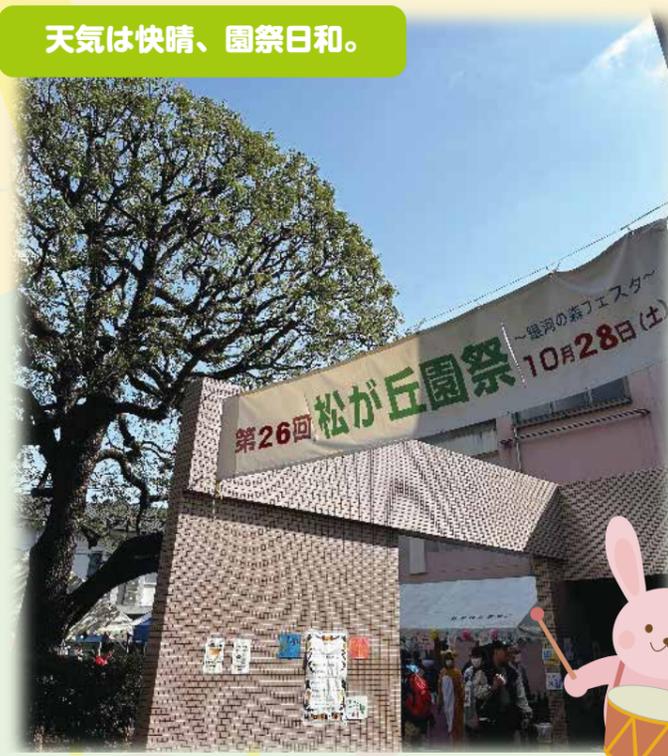
大盛り上がり、最後はお客さんも一緒に踊りました。

「ホームカミングデー」

テーマを決め発表をしたり会話を楽しみました。

「食べ物販売」

利用者はコスプレをしたり、ワイワイした雰囲気でした。



「フотスポット」

リニューアルして実施、おばけや動物に変身し楽しいフォトを撮れました。

けやき体育館フェスタ in けやきウィーク

けやき体育館では障害者週間の期間を「けやきウィーク」として、障害のある人や障害に関する理解促進を図ることを目的に障害のある人もない人も参加出来る、パラスポーツや創作活動の体験会として開催しました。

最後の2日間「けやき体育館フェスタ」では、新たに陸上競技の「車いすレーサー体験」、みんなで作り上げるアート×ニュースポーツ「こねくとミノッシュ」を加え、パラスポーツ体験、ステージ発表、アート体験の各コーナーは誰もが一緒に楽しく交流できる場となりました。

開催にあたっては、多くのボランティアや地域の皆様にご協力いただきました。ありがとうございました。



車いすレーサー



卓球バレー

銀河もイベントで楽しみました

銀河では、松が丘園祭に合わせて、利用者が楽しむ様々なイベントを実施しました。

「縁日気分を味わおう」は、熱々のフランクフルトや、5種類の味のポップコーンを楽しみました。カレーやキャラメルなどのポップコーンを前に、どれにしようか迷っていました。

「仮装して記念撮影をしよう」では、自分で選んだスーツやドレスを着て、かっこよくポーズを決めて写真を撮りました。とびきりの笑顔の写真がたくさん撮れました。

「自主製品販売」は、銀河に植えてあるユーカリの葉を使ったリースや、利用者が描いた絵を使ったキーホルダーが人気でした。



自主製品販売



仮装して記念撮影をしよう